法人化40周年記念事業

令和8年度　福祉みんなのつどい

開催日：令和8年11月22日（日）
会　場：大井町生涯学習センター及び周辺

【午前の部】「外出支援機材展示・試乗会、移動ライトセンター展示・体験コーナー」 10:00～14:00

「外出の自由度・自立度を高めて地域とつながろう」

令和７年度に実施した「地域のつながり実態把握調査」（孤独・孤立対策）の結果から、外出の頻度や手段が「孤独・孤立」に深く関連があることが分かりました。

外出の自由度・自立度を高めることで、地域の集まりや買物等へ自由に行けるようになります。外出支援機材を上手に使って、外出自由度・自立度を高めましょう！

内容：電動シニアカーや電動アシスト自転車の展示・試乗会

※希望される方は無料で試乗ができます

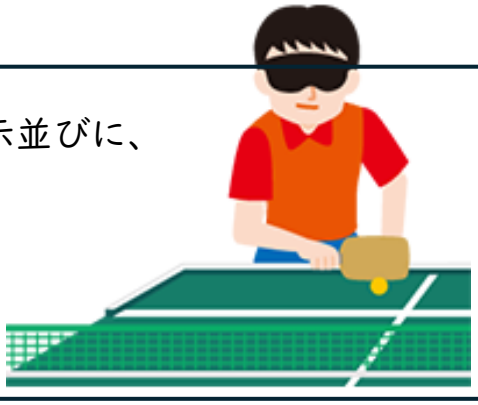


出展：神奈川トヨタ自動車株式会社ウェルキャブ室
横浜商工モビリティ株式会社
協力：大井町老人クラブ連合会　大井町身体障害者福祉協会

「移動ライトセンター」

視覚障がい者の理解を深めるための啓発グッズ等の展示並びに、視覚障がい者のスポーツなどが体験できるコーナーです。

出展：神奈川県ライトセンター



主催：大井町社会福祉協議会　☎0465-84-3294　（裏面もご覧ください）

【午後の部】

「式典」13:30～14:30

1. 主催者あいさつ　　2. 表彰状及び感謝状の贈呈
3. 福祉作文優秀賞の贈呈　　4. 福祉作文発表
5. 来賓祝辞

「映画鑑賞会」14:40～16:20

題　名:「どうすればよかったか？」
監　督:藤野知明
入場料:無料（437席）

言いたくない　家族のこと
面倒見がよく優秀な姉に統合失調症の症状が現れた
両親は玄関に南京錠をかけ、彼女を閉じ込めた



(C)2024 動画工房ぞうしま

解説・あらすじ

医学部に進学した藤野知明監督の８歳年上の姉が、ある日突然事実とは異なることをさけび出す。統合失調症が疑われたものの、医師で研究者でもある両親はその事実を認めなかった。実家を離れた監督は帰省のたびに家族にカメラを向けるようになるが、状況は悪化していく。

『とりもどす–囚われのアイヌ遺骨–』などの藤野知明が監督などを務め、自身の家族にカメラを向けたドキュメンタリー。藤野監督の姉に統合失調症と思われる症状が見られるにも関わらず、両親が彼女に精神科を受診させることなく社会から遠ざける中、映像制作を学んだ彼は自らの家族の姿を 20 年にわたり記録する。